



筑波大学
University of Tsukuba



鹿屋体育大学
NIFS NATIONAL INSTITUTE of FITNESS and SPORTS in KANOYA

JAPAN SPORT
COUNCIL

日本スポーツ振興センター



*Sport has the power to change the world.
It has the power to inspire,
it has the power to unite people in a way that little else does.*

Nelson Mandela

修士課程

スポーツ国際開発学 共同専攻

Joint Master's Program in International Development and Peace through Sport



修士課程 スポーツ国際開発学共同専攻
<http://tkjids.taiiku.tsukuba.ac.jp/>



スポーツと国際開発

スポーツは、社会開発のための重要なツールとして、国際社会において認識されています。教育、ジェンダー、貧困、健康、平和構築など社会課題の解決にスポーツを通じた活動が広がるなか、より高度な知識と能力を備えた人材が必要とされています。

「スポーツ国際開発学共同専攻」は、国内外で生じているこれらの課題解決にスポーツを通して貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。

筑波大学、鹿屋体育大学、そして日本スポーツ振興センター（JSC）の三機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養うプログラムを提供します。



目的

スポーツ・体育・健康に関する理論的・実践的な知識を英語によって学び、国際平和と友好、豊かな地域社会の創造に寄与できる人材を養成します。

教育目標

4つの能力を身につけることを目標とします。

- 国際情勢と政策および国際的な開発課題に対する知識と分析力の獲得、使命感の育成
- グローバルな俯瞰力と実践現場で発揮できるリーダーシップ能力の習得
- スポーツ・体育・健康に関する基礎的知識と実践力の向上
- 国際貢献のためのコミュニケーション力とマネジメント力の向上

本専攻で養成される能力や特質

- 国際情勢と政策に関する知識とともに、他者や社会への自立・成長、変化・発展、目標達成に対する意志、価値観、そして使命感
- グローバルな俯瞰力と地域社会で生活する人々へのまなざしをもって、実践現場でリーダーシップを発揮できるプラクティショナーとしての突破力
- 世界平和と友好を構築し、人々の生活を豊かにするスポーツ・体育・健康に対する深い理解力
- 国際社会に貢献できるコミュニケーション力とマネジメント力（スポーツ・体育・健康に関連した事業における実践能力、語学力）

修了後のキャリアパス

本専攻を修了した者は以下のようなキャリアパスが期待されます。

- 国内外のスポーツ関連組織
- 国内外の開発支援組織
- NGOやNPO法人などの非営利組織
- 国際機関等

学位

修士（スポーツ国際開発学） 筑波大学・鹿屋体育大学

カリキュラム

スポーツ・体育・健康に関する科目および国際開発学に関連する科目を学ぶ講義（基礎・応用・関連）、学内外での演習、国内外での実践（On the Job Practice）、そして課題研究（修士論文または特定課題レポート）から構成されています

| | | | |
|-----------------|------------------|------------------------------|----------|
| 講義 (14単位) | 基礎 | スポーツ国際開発論Ⅰ* | 各 1単位 |
| | | オリンピックムーブメント論* | |
| | | 日本文化伝播論* | |
| | | スポーツ・文化・社会 | |
| | | スポーツプロモーション論 | |
| | | 国際スポーツ政策研究 | |
| | | スポーツマネジメント論 | |
| | | スポーツと障がい者 | |
| | | ヘルスプロモーション論 | |
| | | 上級コーチ教育論 | |
| | 研究方法論* | | |
| | 応用 | スポーツ国際開発論Ⅱ* | 各 1単位 |
| | | 経営マネジメント論 | |
| | | プロジェクトマネジメント論 | |
| 研究プロジェクトマネジメント | | | |
| 関連 | 開発学原論* | 2単位 | |
| | 社会開発のための公共政策 | 2単位 | |
| | 多文化共生論 | 1単位 | |
| | 国際政治学ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB | 2単位 | |
| | アジアにおける開発経済学Ⅰ・Ⅱ | 2単位 | |
| 演習 (10～12単位) | 学内 | スポーツ国際開発学課題演習* | 4単位 |
| | | 課題研究* | 4単位 |
| | 学外 | JSCセミナー | 各 1単位 |
| | | JSCプロジェクト | |
| | | 国外大学セミナー | |
| | | 国際カンファレンス・セミナー NGO等プロジェクト | |
| 実践 (6～8単位) | 母国 | On the Job Practice | 2単位 |
| | 海外 | On the Job Practice* | 6単位 |

*必修科目

学生それぞれの興味・関心に
合わせて選択できる
テーラーメイド型カリキュラム

すべて**英語**による学修

遠隔講義システムを用いた授業や研究指導

実践現場における学修を重視

- 〈OJP例〉
[母国]
・JSCにて調査・研究プロジェクトにおける調査業務
・JICA国内事務所にてインターン
[海外]
・JICAボランティアとしてカンボジアにて障がい者理解教育の活動
・オランダのコーチ養成事業でインターン



入学試験

募集人員

8名（筑波大学 5名、鹿屋体育大学 3名）

出願資格

- 大学（4年制）を卒業した者および2021年3月までに卒業見込みの者
- 学士の学位を取得した者および2021年3月までに取得見込みの者
- 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2021年3月までに修了見込みの者

※出願資格の詳細については、専攻ウェブサイト上にて募集要項をご確認ください。

選抜方法

提出書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、入学候補者を決定します。

- ◇英語：出願時に過去2年以内に受験したTOEICの公式認定証、TOEFLの受験者用控えスコアまたはIELTS公式成績証明書の原本を提出
- ◇論述試験
- ◇口述試験

試験日程 2020年 9月26日（土）

その他入学試験の詳細については、専攻ホームページをご確認ください。

<http://tkjids.taiiku.tsukuba.ac.jp/>